

令和8年度 電子制御工学科3年 学外研修実施報告

1. 目的

新居浜高専の電子制御工学科の卒業生の就職先でもある、四国電力様での見学研修を通じて、普段学んでいる学習内容が工場や企業で実現されているか学び、そこで働く人々との交流を通して自分の将来の職業などへの意識を高めてもらう。また、研修を行うにあたって必要な社会的マナーおよびTP0 に沿った行動・服装ができるように指導を行う。

2. 事前指導

特別活動の時間を利用し、研修に臨むにあたっての心がけやその場の状況にあった服装・ふるまい身だしなみなどについての指導を行った。また、今回の学外研修における各自の目的・目標・意気込み（設定した目標を達成するためにどのような姿勢で学外研修に臨むか）を設定し、訪問する企業である四国電力様についての調査を各自行い、企業の置かれている状況や見学する施設についてレポートでまとめて提出させた。

3. 研修当日の状況

【日 時】 令和8年5月8日（金） 8：50～：14：30

【参加者】 43名 （内、引率教職員2名）

【欠席者】 1名

【研修先】 四国電力 坂出発電所

【状 況】

9時に本校を出発した。坂出発電所到着後、まず従業員の方から四国電力ならびに坂出発電所についての説明を受けた。その後、注意事項の説明を受けたのち、参加者を2班に分けて発電所内の施設を見学した。ちょうど発電機のひとつ（1号機）が定期メンテナンス中であり、分解されたタービンなどの点検中の様子を見せていただくなど、大変貴重な場面を見学できた。また、普段間近で目にすることのない発電設備や装置を目の当たりにし、大きな刺激を受けている様子だった。

見学後は学生から多くの質問がとび、従業員の方から丁寧に回答を頂いた。その後、坂出発電所内の研修施設で昼食を取り、帰校した。

4. 事後学習の状況

5/11の特別活動の時間を使って、各自で設定した目標の達成具体や本研修で学んだこと・印象に残ったこと・本研修を受けた上での今後の学習における意気込みなどをスライドにまとめ、5/18・5/25の特別活動の時間で一人2～3分程度で発表させた。また、当日欠席していた学生は、特別活動での学生たちの発表を聞いて、印象に残ったこと・それに対する自身の考え・今後の学習の意気込みなどをレポートにまとめて提出させた。

5. まとめ

本研修は、学生たちが普段の授業や実験で学んでいる内容が、発電所という社会を支える大規模なインフラ設備においてどのように実装され、機能しているかを体感する極めて有意義な機会となった。学生たちにとっては、普段の授業だけでは得られない大きな経験となり、専門学習へのモチベーションや今後の進路選択への意識を飛躍的に高められたのではと考える。

最後に、業務多忙の折、学生たちのために貴重な見学の機会をご提供いただき、現場の案内や、学生たちの質問に対して終始丁寧に対応いただきました四国電力坂出發電所の従業員の皆様に、深く御礼申し上げます。

